

研修番号	研修名	開催期日	会場名・住所		定員	内訳	
1	特別支援教育とスクール・マネジメント		6月2日（月） 13：00 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A210教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		スクール 形式 60 ・静岡県教育委員会義務教育課 27名 ・静岡県教育委員会高校教育課 8名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 8名 ・静岡市教育委員会 4名 ・浜松市教育委員会 4名 ・常葉大学系列校 1名 ・常葉大学教職大学院 現職8名	
				講師	笹森 洋樹		
				所属	常葉大学教育学部 教授		
	研修内容	学校教育は障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した取組を含め「共生社会」の形成に向けて、重要な役割りを果たすことが求められている。「特別支援教育」は共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構想のために必要不可欠なものである。特別支援教育を着実に推進するための現状課題の把握と明確な経営ビジョンを持つため、令和6年度から新たに「特別支援学校教育とスクール・マネジメント」研修を実施し、学校が令和の日本型学校教育に迅速に対応出来るよう、リーダーの育成を図る。					
研修対象者	A：小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員等（私立学校を含む）であって、学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生						
実施方法	集合（オンライン）						

研修番号	研修名	開催期日	会場名・住所		定員	内訳
2	新規研修	6月9日（月） 9：30 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A210教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		グループ 形式 40	・静岡県教育委員会義務教育課 16名 ・静岡県教育委員会高校教育課 6名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 6名 ・静岡市教育委員会 2名 ・浜松市教育委員会 2名 ・常葉大学教職大学院現職教員学生 8名
	学校危機管理研修 ～教員のための法規研修・静岡県における防災教育の課題～					
	講師		寺島 明彦			
	所属		常葉大学 職員			
	講師	重川 希志依				
			所属	常葉大学名誉教授		
	研修内容	(教員のための法規研修) 学校危機に対する予防のための事例の把握、それに伴う法的手続きの手法について、実際に発生した事例や今後起こりえる可能性の高い事例を提示し、実践的危機管理能力の育成を図る。 (静岡県における防災教育の課題) 学校における『防災教育』推進の観点から、今後必要とされる児童・生徒に身に付けさせる資質・能力を明らかにすると共に、家庭や地域社会との連携等の在り方についても検討し学校教育現場において実施可能な防災教育プログラム構築のアイデアやその具体的方法の実例を通して参加者同士で検討を行い、地域や学校の実情を生かした防災教育の指導者養成を図る。				
	研修対象者	A:小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員等（私立学校を含む）であって、学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生				
	実施方法	集合（オンライン）				

研修番号	研修名	開催期日	会場名・住所		定員	内訳
3	探究型 2 年継続研修（令和 6 年度・7 年度）	8月8日（金） 13：00 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A310教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		グループ 形式 60	・静岡県教育委員会義務教育課 26名 ・静岡県教育委員会高校教育課 8 名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 7名 ・静岡市教育委員会 5名 ・浜松市教育委員会 4 名 ・常葉大学系列校 2 名 ・常葉大学教職大学院現職教員学生 8 名
	地域と協働する学校創り					
	講師		大野 裕己			
	所属		兵庫教育大学大学院 教授			
	研修内容	これからの厳しい時代を生き抜く力の育成、地域から信頼される学校づくり、社会的な教育基盤の構築との観点から、学校と地域はパートナーとして相互に連携・協働していく必要があり、そのことを通じ社会総がかりでの教育の実現を図る必要がある。地域でどのような子どもを育てていくのか、学校と地域の連携・協働を確立する意義、考え方の理解を深め、地域と協働する学校づくりのためのスクール・リーダーの役割を考える。 第 2 回となる令和 7 年度は、現任校の現状に適合的な「当面の地域協働推進の狙い」、「取組/支える体制」を各自検討するとともに、参加者個人の「果たしたい役割・行動」を検討し、その成果や、具体的な取組展開のアイディアを発表する場とする。				
研修対象者	A：小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員等（私立学校を含む）であって、学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生 ＊A、B共通 令和 6 年度からの 2 年継続研修になります。第 1 回（令和 6 年度）、第 2 回（令和 7 年度）共に同一の受講者を選出願います。諸事情等により第 1 回と第 2 回の受講者に変更がある場合は、前回と同一部署または同一学校所属の方をご推薦ください。＊Cのみ単年度受講（教職大学院在籍期間中のみの受講）となります。					
実施方法	集合（オンライン）					

研修番号	研修名	開催期日	会場名・住所		定員	内訳
4	探究型 2 年継続研修（令和 6 年度・7 年度） 新しい学校づくりを推進する カリキュラム・マネジメント （静岡県東部地区）（第2回・完結回）	8月22日 （金） 13：00 ～ 16：30	沼津プラサバルデ 401会議室 〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4		グループ 形式 30	・静岡県教育委員会義務教育課 20名 ・静岡市教育委員会 8 名 ・常葉大学教職大学院院生 2名
	講師	本図 愛実				
	所属	宮城教育大学大学院 教授				
	探究型 2 年継続研修（令和 6 年度・7 年度） 新しい学校づくりを推進する カリキュラム・マネジメント （静岡県中・西部地区）（第2回・完結回）	12月8日 （月） 13：00 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパスA210教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		スクール 形式 56	・静岡県教育委員会義務教育課 6名 ・静岡市教育委員会 3 名 ・浜松市教育委員会 41名 ・常葉大学教職大学院院生 6 名
	講師	倉本 哲男				
	所属	静岡文化芸術大学 教授				
研修内容	学校は、児童生徒や学校、地域の実態に即して学校教育目標をたて、学校の資源、特色を生かした適切な教育課程を編成し、実施・評価・改善をする必要がある。新学習指導要領においても「カリキュラム・マネジメント」の重要性が示されている。本研修では、研修期間を 2 年間と設定し、その間、所属校の抱える問題に自ら向き合い組織において、個々が熱意をもって業務に取り組めるよう演習を用いて協議し、時に講師の助言を織り交ぜる演習中心の研修を実施する。 令和 7 年度に「2 年継続完結回」研修を実施、お互いの実践成果について発表、更なる対策の提案等、協議の場とする。					
研修対象者	A：小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員等（私立学校を含む）であって、学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生 ＊A、B共通 令和 6 年度からの 2 年継続研修になります。第 1 回（令和 6 年度）、第 2 回（令和 7 年度）共に同一の受講者を選出願います。諸事情等により第 1 回と第 2 回の受講者に変更がある場合は、前回と同一部署または同一学校所属の方をご推薦ください。＊Cのみ単年度受講（教職大学院在籍期間中のみの受講）となります。					
実施方法	集合（オンライン）					

研修番号	研修名	開催期日	会場名・住所		定員	内訳
5	事務職員のための法規研修	9月3日（水） 13：00 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A310教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1	グループ 形式 50		・静岡県教育委員会義務教育課 26名 ・静岡県教育委員会高校教育課 6名 ・静岡県教育委員会 特別支援教育課 2名 ・静岡市教育委員会 4名 ・浜松市教育委員会 4名 ・常葉大学教職大学院現職教員学生 8名
	研修内容					
	研修対象者					
	実施方法					

研修番号	研修名		開催期日	会場名・住所		定員	内訳
6	フィジカルアセスメントと学校における 応急体制の確立		9月4日（木） 13：00 ～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A310教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		グループ 形式 50	・静岡県教育委員会義務教育課 22名 ・静岡県教育委員会高校教育課 5名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 5名 ・静岡市教育委員会 4名 ・浜松市教育委員会 4名 ・常葉大学系列校 2名 ・常葉大学教職大学院現職教員学生 8名
				講師	三村由香里		
				所属	岡山大学大学院 教授		
	研修内容	『学校経営戦略の刷新』を図る上で、子ども、保護者、教職員を支え、連携役を果たす「養護教諭」の役割が極めて重要となる。そのため本研修では養護教諭及び指導主事、学校管理職等を対象に「フィジカルアセスメント」を観点にした「学校における応急体制の確立」のための具体的方法や、連携、協力体制を構築出来る資質・能力の向上を目指します。					
研修対象者	A：小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、養護教諭、教諭等（私立学校を含む）であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生						
実施方法	集合（オンライン）						

研修番号	研修名		開催期日	会場名・住所		定員	内訳
7	GIGAスクールと学校マネジメント		9月29日 (月) 13:00 ～ 16:30	常葉大学静岡草薙キャンパス A501 PC演習室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		PC 演習室 60	・静岡県教育委員会義務教育課 28名 ・静岡県教育委員会高校教育課 8名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 4名 ・静岡市教育委員会 5名 ・浜松市教育委員会 5名 ・常葉大学系列校 2名 ・常葉大学教職大学院現職教員学生 8名
			講師	高橋 純			
			所属	東京学芸大学 教授			
	研修内容	GIGAスクール構想の視点からICTを取り入れることにより、学校がどのように変化してゆくのかということに主眼を置き、事例を通して参加者同士検討し、新たな学校づくりを推進するスクール・リーダーの資質向上を図る。 * 定員について PC台数の関係上、60となります。					
研修対象者	A:小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員（私立学校を含む）であって、各学校や当該地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生						
実施方法	集合（オンライン）						

研修番号	研修名		開催期日	会場名・住所		定員	内訳
8	教職員評価を効果的に運用するための面談力を高める コーチング		12月1日 (月) 9：30～ 16：30	常葉大学静岡草薙キャンパス A210教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		グループ 形式 40	・静岡県教育委員会義務教育課 22名 ・静岡県教育委員会高校教育課 8名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 4名 ・静岡市教育委員会 3名 ・浜松市教育委員会 3名
				講師	久米 昭洋		
				所属	常葉大学大学院 教授		
	研修内容	各学校において、校長等管理職のリーダーシップの下、組織的、計画的に学校運営を展開することができるようにすると共に、地域のニーズや児童・生徒の実態等を考慮しながら常に新たな学校づくりに挑み続けるため、基礎的知識や理論等を習得し、参加者による協働的な省察を行う演習形式の研修を行うことによって、各学校や地域においてコーチングの考え方や価値を用いてマネジメントの質を向上させ発揮することができる指導者の養成を図る。					
研修対象者	A:小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職、中堅教員等（私立学校を含む）であって、学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。 B：行政の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者。 C：常葉大学教職大学院現職教員学生						
実施方法	集合（オンライン）						

研修番号	研修名		開催期日	会場名・住所		定員	内訳
9	探究的な校内研修を推進するための ファシリテーション研修		令和8年 2月13日 (金) 9:30~ 16:30	常葉大学静岡草薙キャンパス A310教室 〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1		グループ 形式 48	・静岡県教育委員会義務教育課 20 名 ・静岡県教育委員会高校教育課 8 名 ・静岡県教育委員会特別支援教育課 4 名 ・静岡市教育委員会 4 名 ・浜松市教育委員会 4 名 ・常葉大学教職大学院院生 8 名
				講師	久米 昭洋		
				所属	常葉大学大学院 教授		
	研修内容	校内研修を円滑に推進するために、学校を1チームと捉え、チームとしての自律的な問題解決力が必要と考える。そこで本研修では、「ファシリテーション」の手法を取り入れ、会議等で合意形成や相互理解を高め、チームとしての自律的な問題解決を促し、業務課題を解決することで、組織の業務遂行力を高めることを目指します。本研修ではチームリーダーや管理職等が、ファシリテーションのスキル活用することによってチームの能力を最大限に引き出すスタイルのリーダーシップを発揮する方法を習得します。					
研修対象者	小・中・高等学校・特別支援学校等の管理職等（教務主任含む）研修主任及び校内研修の中心に携わる者。						
実施方法	集合（オンライン）						